

平成31年度 全国学力・学習状況調査結果について

玉城町立外城田小学校

本年4月18日に6年生を対象に実施した「平成31年度全国学力・学習状況調査」の結果が文部科学省から公表されました。この調査の目的の1つは、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、一層の学力の向上を図れるように授業のやり方を改善したり、保護者とともに家庭におけるよりよい学習習慣や生活習慣を定着させたりする取組などを進めることにあります。

本校の6年生は、進級を重ねる中で、じっくり学習に取り組めるようになってきました。学習課題に真剣に向き合い、少しずつ自分の言葉で自分の考えを伝えようとする子どもたちが増えていきます。学力調査でも粘り強く最後まで問題に取り組むことができました。また、授業以外でも学校行事や児童会活動、通学団などの日々の活動で、最上級生としてリーダーシップを発揮して頑張ってくれています。

今回の公表を受けて、外城田小学校全体としての成果や課題についてお伝えします。

全国学力・学習状況調査の結果より

本年度は、国語・算数の2教科と生活習慣や学習環境に関する調査が行われました。平均正答率との比較などにより、外城田小学校でも全国や三重県の状況とよく似た傾向が見られましたが、特徴的な状況は次のとおりです。

1 教科に関する調査結果からわかった本校の子どもたちの強み

- 【国語】
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。（調査の「対象」、友達に「限らず」）
 - 目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む。
 - 話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をする。
 - 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる。
 - ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる。
- 【算数】
- 無回答が少ない。→ 諦めずに問題に取り組める姿勢が広がってきた。
 - 棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができる。
 - 足し算と掛け算の混合した整数と小数の計算をすることができる。
 - わられる数、わる数に同じ数をかけると商は等しくなることを理解している。

2 教科に関する調査結果からわかった本校の子どもたちにつけていかななくてはならない力

- 【国語】
- △ 図表やグラフなどを用いた目的を捉える。
 - △ 目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く。
 - △ 目的に応じて、質問を工夫する。
- 【算数】
- △ 図形の性質に着目し、図形をずらしたり、回したり、裏返したりすることで、目的の図形を作ることができる。
 - △ 示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を言葉や数を用いて記述することができる。
 - △ 2つの棒グラフから資料の特徴や傾向を読み取り、それらを関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、判断の理由を言葉や数を用いて記述できる。
 - △ 示された計算の仕方を解釈し、引き算の場合を基に、割り算に関して成り立つ性質を言葉を用いて記述できる。
 - △ 示された割り算の式の意味を理解している。

△ 示された場面の状況から、単位量あたりの大きさを基に、求め方と答えを言葉や数を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断することができる。

今後つけていかなければならない力の問題

算数 3 計算の仕方の解釈と発展的な考察（計算の工夫）

3

ともやさんは、 $421 - 298$ や $600 - 201$ のようなくり下がりのあるひき算について、次のように計算しやすい式にして考えました。

【ともやさんの計算の仕方】

$$\begin{array}{r} 421 - 298 = \square \\ \downarrow +2 \quad \downarrow +2 \\ 423 - 300 = 123 \end{array} \quad \begin{array}{l} \curvearrowright \\ \text{変わらない} \end{array}$$

だから、 $421 - 298$ の答えの \square は、123 です。

$$\begin{array}{r} 600 - 201 = \square \\ \downarrow -1 \quad \downarrow -1 \\ 599 - 200 = 399 \end{array} \quad \begin{array}{l} \curvearrowright \\ \text{変わらない} \end{array}$$

だから、 $600 - 201$ の答えの \square は、399 です。

ゆいなさんは、くり下がりのあるひき算を計算したときにもとにした考えをふり返って、次のようにまとめました。

【ゆいなさんがまとめたこと】

ひき算では、
 ひかれる数とひく数に同じ数をたしても、
 ひかれる数とひく数から同じ数をひいても、
 差は変わりません。
 このことを使うと、計算しやすいひき算の式で考えることができます。

ことねさんは、 $400 \div 25$ や $90 \div 18$ のようなわり算についても、計算しやすい式にすることができると思い、下のように考えました。

【ことねさんの計算の仕方】

$$\begin{array}{r} 400 \div 25 = \square \\ \downarrow \times 4 \quad \downarrow \times 4 \\ 1600 \div 100 = 16 \end{array} \quad \begin{array}{l} \curvearrowright \\ \text{変わらない} \end{array}$$

だから、 $400 \div 25$ の答えの \square は、16 です。

$$\begin{array}{r} 90 \div 18 = \square \\ \downarrow \div 9 \quad \downarrow \div 9 \\ 10 \div 2 = 5 \end{array} \quad \begin{array}{l} \curvearrowright \\ \text{変わらない} \end{array}$$

だから、 $90 \div 18$ の答えの \square は、5 です。



【ともやさんの計算の仕方】を見ると、ひき算では、ひかれる数とひく数に同じ数をたしても、ひかれる数とひく数から同じ数をひいても、差は変わらないのですね。

(1) 【ともやさんの計算の仕方】をもとに、 $350 - 97$ について、計算しやすいようにひく数の97を100にした式で考えます。

$$\begin{array}{r} 350 - 97 = \square \\ \downarrow \quad \downarrow \\ \text{㊶} - 100 = \text{㊷} \end{array} \quad \begin{array}{l} \curvearrowright \\ \text{変わらない} \end{array}$$

だから、 $350 - 97$ の答えの \square は、 ㊷ です。

上の㊶、㊷、㊸に入る数を書きましょう。

(2) ひき算について書かれた【ゆいなさんがまとめたこと】と同じように、わり算についても、【ことねさんの計算の仕方】をもとにまとめると、どのようになりますか。

下の□の中、「わられる数」、「わる数」、「商」の3つの言葉を使って書きましょう。

わり算では、

※ 解答は、すべて解答用紙に書きましょう。

このことを使うと、計算しやすいわり算の式で考えることができます。

(3) 【ことねさんの計算の仕方】をもとに、 $600 \div 15$ について考えます。

$$\begin{array}{r} 600 \div 15 = \square \\ \downarrow \text{㊸} \quad \downarrow \text{㊹} \\ \text{㊺} \div \text{㊻} = \text{㊼} \end{array} \quad \begin{array}{l} \curvearrowright \\ \text{変わらない} \end{array}$$

だから、 $600 \div 15$ の答えの \square は、 ㊼ です。

上の㊸にあてはまるものを、下の□の中から1つ選び、また、上の㊹にあてはまるものを、下の□の中から1つ選んで、それぞれ書きましょう。

ただし、それぞれ、どれを選んでかまいません。

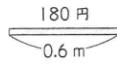
① $\times 2, \div 3, \div 5$ ② $\times 2, \div 3, \div 5$

さらに、上の㊺、㊻、㊼、㊽に入る数を書きましょう。

(4) ゆいなさんは、下の問題について考えています。

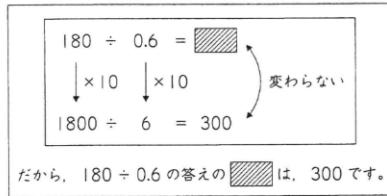
問題

リボンを0.6 m買ったときの代金が180円でした。



1 m 分の代金は $180 \div 0.6$ の式で求めることができます。

ゆいなさんは、次のように、小数のわり算を整数のわり算にして答えを求めました。



$1800 \div 6$ は、何 m 分の代金を求めている式といえますか。

下の あ から え までの中から 1 つ選んで、その記号を書きましょう。

- あ 0.6 m 分の代金
- い 1 m 分の代金
- う 6 m 分の代金
- え 10 m 分の代金

問題は、次のページに続きます。

算数 3 設問 (1) 示された減法に関して成り立つ性質をもとにした計算の仕方を解釈し、与えられた式の計算に適用することができるかどうかみる問題、設問 (3) 示された計算の仕方を解釈し、被除数と除数にかける数や被除数と除数を割る数を選び、計算しやすい式にして計算することができるかどうかみる問題では、いずれも全国の平均正答率を上回っていました。((1) 全国 : 81.8% 本校 : 85.0% / (3) 全国 : 74.9% 本校 : 80.0%)

一方、設問 (2) 示された計算の仕方を解釈し、減法の場合をもとに、除法に関して成り立つ性質を用いて記述できるかどうかみる問題で、全国の平均正答率より低い結果となりました。((2) 全国 31.1% 本校 20.0%) 「わられる数」、「わる数」、「商」の言葉を使って回答していますが、わられる数とわる数に同じ数をかけることや、わられる数とわる数を同じ数で割ること、商がかわらないことを記述できていませんでした。

こうしたことから、数の見方について話し合うことで、数を多面的にみて計算することができるようにするなど、数についての感覚を豊かにし、それを表現する活動などに取り組んでいきます。今後、全ての教科において、「文章を読み解く力・伝える力」の育成をめざします。

③ 生活習慣や学習環境などに関する児童への質問紙調査の結果より

○朝食を毎日食べています

本校では、朝食を毎日食べている子の割合が全国平均より少し劣るもののほとんどの子どもたちが毎日朝食を食べています。ご家庭のご協力により、子どもたちは、元気に登校できていると思います。引き続きご協力をお願いします。

○家庭での学習習慣を付けていきましょう

家庭で自分で計画を立て勉強をする、学校の授業時間以外に勉強をする子の割合が全国平均と比べ低い状況です。学校では、学びと遊びの時間のメリハリをつけて指導します。玉城町の「学習の手引き」をもう一度ご覧いただき、家庭でも一定の時間を学ぶ時間としてください。ゲームやインターネット、スマートフォンの時間を適切にし、約束を守らせるようにしてください。学校からの宿題の質や量もさらに高めるように工夫します。また、家庭学習の際、分からないところを教えるだけでなく、一緒に調べたり、教科書やノートをもう一度読ませたりすることで、学習習慣だけでなく、自主学習の仕方も定着していくと思います。

○ご家庭でも読書の時間を大切に

読書が好きという子の割合が全国平均と比べ高い状態です。読書は、感性・情緒の基盤を成す言語に関する能力を育むうえで大切です。いつでも本が読めるよう環境を整えておくと、家族みんなで読書を楽しむことができます。また、読んだ本について家族で話したり、家族の「読書タイム」を作ってみんなで楽しんだりして、ご家庭でも読書習慣を育てていきましょう。今、テレビやゲームに使っている時間を読書にしてみてもいいでしょうか。

今回の調査結果から、いずれの教科においても、長い文章題や複数の資料、意見など、多くの情報が盛り込まれた問題を十分理解できていないという課題が見られました。学校でも、読書の時間を設けたり、図書室を活用したりするなど本や活字に親しむようにしますので、家庭でも読書の習慣が身につくようご協力をお願いします。

④ さらなる学力の向上をめざして

外城田小学校の6年生の子どもたちは学習規律が身につけており、じっくりと授業に向き合っています。また、少人数学級編制により、学級担任を中心に指導者が学級全体を見てきめ細かに指導できています。こうした授業にまじめに取り組むことができている状況を大切にしながら、各学級では、次のことに取り組んでいます。

- ・ 読み・書き・計算という知識・技能がしっかりと定着するように、朝の学習や家庭学習において、継続して計算の問題、漢字の練習、読書に取り組んでいます。
- ・ 授業の中で、主体的に考え判断したり、表現したりする場面を大切にして、全授業を組み立てています。特に、多面的な見方を身につけるため、例えば、算数では複数の解法を考えるなどを取り入れています。
- ・ 国語科でつけた書く力をもとに、他教科でも授業の振り返りを述べる際に、論理的に自らの学習の歩みが表現できるように、振り返りの書き方などを提示し取り組んでいます。
- ・ 全ての教科で「文章を読み解く力・伝える力」の育成するために、言語活動を意識した活動を学校の教育活動全体で組織的・計画的に取り組んでいます。

子どもたちにとって主体的・対話的で深い学びとなり、「わかる」「できる」と感じる授業となるよう引き続き授業改善をすすめていきますので、今後も、学校・家庭・地域が一つになって子どもたちの力を最大限引き出していくようご協力よろしくお願いします。